



富士見だより

新HPのQRコード



校長 市川 晃司

令和7年5月29日 第3号

TEL: 042 (554) 6449

FAX: 042 (578) 1522

巣立った子供の笑顔が輝いていました～「入口」と「出口」を大切に～

令和7年5月7日（水）、本校の全教員が羽村第二中学校を訪問し、授業を参観しました。

「〇〇先生！」と本校を卒業した多くの生徒が、笑顔で手を振りながら温かく出迎えてくれました。定期考査や部活動のこと、新しくできた友達のことなど、中学校生活の様子を伝えてくれる生徒もいました。中学校1年生は、3月まで小学校6年生だったわけですが、制服を着ると雰囲気が変わり凛々しく見え、成長を感じてうれしい気持ちになりました。

授業を参観させていただいた後には、教員が「学習指導」「生活指導」「特別活動」「キャリア教育」「特別支援教育」の5つの分科会に分かれ、それぞれの領域の充実と発展のために他校の先生方と協議会を行いました。参観させていただいた生徒の様子を踏まえながら、建設的・生産的な話し合いが行われていました。

今回の取組は、羽村市教育委員会が策定した「羽村市小中一貫教育基本計画」に基づくものです。小学校と中学校の義務教育9年間を連続した教育活動ととらえ、市内小・中学校を中学校区ごとにグループ化し、小中一貫教育を進めています。本校は栄小学校、松林小学校とともに、多くの卒業生が進学する羽村第二中学校のグループに属しています。

今回の取組をスタートに、年間を通して以下のような取組を行っています。

月	取組	内容
6	小中合同あいさつ運動	二中学生が来校し、代表委員と一緒にあいさつ運動を行う。
12	職場体験発表会	6年生が中学校を訪問し、中学2年生の発表会に参加する。
12	ハートフルミーティング	「やさしさあふれる学校」をテーマに各校の代表委員会が協議する。
2	乗り入れ体験授業	二中教員が来校し、小学6年生に授業を行う。
2	中学校説明会	6年生が中学校を訪問し、中学校生活について学ぶ。

これらの取組を通して、小学6年生が安心して中学校に入学できることが期待できます。一方、中学生にもリーダーシップや思いやりの気持ちを醸成できるメリットがあります。今後も、グループに属する学校と連携を図りながら、より充実した活動になるように努めてまいります。

本校では、「小中一貫教育」に加え、「幼・保・小連携教育」も大切にしています。市内の幼稚園、保育園、こども園の年長さんが本校を訪問し、主に1年生と交流活動を行っています。遊びや発表、学校探検等を本校の教育活動に位置付けており、1年生の学習意欲は大きく高まります。園の職員から年長さんの反応をお聞きすると、「みんな、この日をわくわくしていたんです。」「『小学校って楽しいんだね』と言っていました。」「1年生が優しくてうれしかったそうです。」とたくさんの肯定的なお話を伺うことができます。

「幼・保・小連携教育」を小学校への「入口」と考えると、「小中一貫教育」は小学校の「出口」に当たります。本校では今年度から2年間、「異年齢集団による交流活動」の研究を深めていきます。校内だけにとどまらず、教育の連続性を大切にしながら小学校における「入口」と「出口」も意識した研究を進めてまいります。

令和7年5月17日（土）に今年度初めての学校公開を開催しました。朝から雨の降る中、多くの保護者・地域・関係機関の皆様が御来校いただきました。心より御礼申し上げます。年度が替わり、児童や学級、学校全体の様子について御覧いただきました。4校時には大地震を想定した引き渡し訓練を行いました。命にかかわる大切な訓練であることを保護者の方にも十分御理解いただき、本番を想定した実りある訓練となりました。